



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2020年4月1日 No.197

## 「車両職社員新入社員基礎技術教育の実施方法変更について」 経営側と団体交渉で議論を交わす

東日本ユニオンは3月25日に申第20号「『車両職社員新入社員基礎技術教育の実施方法変更について』に関する申し入れ」の団体交渉を開催しました。

### ○今日段階における車両職の新入社員教育の成果と課題について

＜成果＞「メンテナンス近代化構想Ⅲ期」以降、マザーベースとして総合車両センターで一年間、基礎教育を学んだのちに各現場配属となっている。一定の成果は出ていると認識している。

＜課題＞中途採用社員について、以前は自動車や航空会社などでメンテナンスの経験者を採用していたが、近年はメンテナンス経験がない方が増えてきている。  
輸送体系や新系列車両の投入の変化のほか、マザーベースの総合車両センターにより得意の車種があることなど、各総合車両センターにより若干バラつきがあった。

### ○今日段階における各総合車両センターで実施してきた基礎技術教育の成果と課題について

＜成果＞トータルで車両構造や検修業務の概要を理解できる教育ができた。

＜課題＞総合車両センターで外注している業務に関する教育が薄くなってしまったこと。

先輩社員の背中を見て育った若い世代が、次の世代に教えることができるようになること。

### ○新たに総合研修センターで行う「基礎技術教育内容」と「教育期間」について

2020年度は概ね2週間。詰め込み教育にならないよう基礎的な部分を教えていく。教育内容はメンテナンスの規定、関係法規、車両の基礎知識および各車両の特徴と作業安全など基礎を教える。ヒヤリングを通して教育内容や期間を変更する可能性はある。

### ○新たに総合車両センターで行う「基礎技術教育内容」と「教育期間」について

エリア職採用の新卒は概ね9ヶ月、中途採用は概ね4ヶ月、グループ会社採用は概ね3ヶ月。教育内容は各所で大きな違いはない。各所属車両により独自教育の実施や教育期間が変わることはある。

### ○資格の取得について

総合研修センターでは取得しない。これまで通り、基本的な資格は総合車両センターで取得する。

### ○統一した教育体制のメリットについて

全車種共通の規定や作業安全の教育のほか、当社の車両（新幹線、気動車、電車など）をトータルで概要を知ることができる。

### ○採用ごとで「基礎技術教育期間」を見直した理由と根拠について

現場の声を反映させたことが大きい。また、デバイスの普及でデジカメやタブレット、モックアップや動画などを用いた教育が可能となったことから期間を短縮できると考えている。

### ○グループ会社の新入社員等に実施する基礎技術教育について

当社と同じ内容で教育ができればグループ会社側で教育を行っても良いと考えており、現行の教育レベルはJR本体と均一に保たれていると認識している。「任意」ではあるが、今までも基礎技術教育を行ってきたグループ会社が対象であり、間口を広げた訳ではない。